

道の駅「風の丘米山」再整備基本構想改訂版（案）概要

柏崎市産業振興部商業観光課

全体配置計画



案内・サービス施設
子育て応援施設
トイレ施設
商業施設

痴娯の家

黒船館

同一庵藍民芸館

- 道の駅エリア
- 商業エリア
- 一部を道の駅に編入するエリア

道の駅として導入、利活用する機能

【商業エリア】

- 商業施設
- 海産物販売スペース
- 地場産品販売スペース
- 飲食スペース

【道の駅エリア】

- 情報発信機能
- 観光情報デジタルサイネージ
- 海や花火などの体感
- コンシェルジュの配置

● 休憩機能

- 24時間トイレ
- ユニバーサルトイレ
- 授乳室、オムツ交換スペース
- 身体障害者対応設備

● 地域連携機能

- コレクション3館

ミッション

「柏崎市西部地区の観光による活性化」

バリュー（施設が提供する新たな価値）

- 地域と連携したおもてなしを展開
- 柏崎の「海の新たな魅力」を再構成し、観光拠点として発信
- 商業施設との連携による、通年でいつでもお訪れとなる目的の地型道の駅として整備

コンセプト

「海の柏崎」の魅力を感じ

整備における考え方

既存の施設を活用することで整備コストを抑えつつ
商業エリアと道の駅エリアの併設による
エリア全体の活性化を図る

立地の特徴

【商業エリア】

- 国道8号線に隣接し、富山と新潟を結ぶ中継点
- 佐渡弥彦米山国定公園に隣接し、海（鷗が鼻）と山（米山）を堪能できる
- ホテルシーポートが隣接し、飲食・物販・宿泊のサービスを一体的に提供できる

【道の駅エリア】

- 小高い丘にあり、海と夕陽と米山が眺望できる
- 年間を通じて強い風が吹き、雷が覆う発生する
- コレクション3館が隣接している

現状の課題

【商業エリア】

- 日本海鮮魚センターをはじめとした商業施設の老朽化が進んでおり、清潔感に乏しい
- 裏山ががけ地であり、地形上の制約が多い（敷地全体が狭隘地で坂になっている）
- 駐車場が施設を挟んで2か所に分離され、駐車スペースの大半が道路上から視認できない
- 歩行者の安全を確保しつつ、スムーズな車両の通行ができるよう、動線の見直しが必要
- バリアフリー環境（店舗・トイレ・駐車スペース）が不十分
- 現在販売されている商品は生鮮品が主で、土産物（地場産品）が少ない
- 隣接するホテルは休業中で営業再開は不透明
- 地域との連携が不十分

【道の駅エリア】

- 敷地が広く自由度は高いものの、丘の上にありアクセス道路の改善が必要
- 特に冬場の凍結は課題
- 電柱や雑木が景観を阻害している
- 国道8号線から見たときに何がかわからない（視認性が低い）
- 年間を通じて風が強い
- 景観や土地利用を阻害している旧こどもの時代館
- 収益施設がないため収益性に乏しい
- 地域連携施設と商業施設との運動制が乏しい
- 国定公園としてロケーションを活かされていない

課題解決のためのポイント

【商業エリア】

- 商業施設の機能集約と改修
- 一部エリアを道の駅エリアに編入し、情報発信、子育て応援機能を備えた施設、トイレ施設を整備し、国道8号線沿いという立地条件を生かした道の駅としての集客を実現する。
- 将来的には、道の駅出店者と協議を行い、企業収益と市収益の調和を図る（公益費の徴収）
- 清潔感ある明るい建物で、海産物や地場産品をイメージよく展示販売する
- 施設の再配置に合わせた動線の見直し、バリアフリーへの対応
- ホテルシーポートの営業再開を前提とした連携
- 周辺の景観と調和した施設のデザイン
- 商品、コンテンツは地場のものを核として、地域の情報・魅力の発信と活性化を図る。
- 鷗が鼻（恋人岬）、さけのふるさと公園、青海川駅、海水浴場、コレクション3館などとの連携強化

【道の駅エリア】

- アクセス道路の見直し及び傾斜、植栽の改善
- サイン類の再整備
- 商業エリアと運動した企画実施など、道の駅として一体感の演出
- 周辺の雑木伐採などロケーションの確保
- 収益性のある事業による収益の確保
- 旧こどもの時代館の取り壊し
- 市民や観光客の安全・安心の確保のための防災機能の検討（米山インターチェンジの移設）